

日本語スピーチコンテスト 高校生部門1位

みなさんはじめまして。私はパッカートピタヤーコン学校、高校2年生のソンシットです。今日は、「言葉を勉強することが将来どのように役立つか」についてお話しします。どうぞ、よろしくお願いします。

私は言葉はとても便利だと思います。
自分の気持ちを伝えることができます。人の気持ちを知ることができます。

私が小学生の時、悲しいことがありました。
同級生が学校で私に言いました。
「気持ちが悪い。死ね……。」
私は、とても悲しい気持ちになりました。さみしい気持ちになりました。
そして、たくさん泣きました。暗い毎日が始まりました。

でも、ある日、友達が私に言いました。
「ソンシット君、大丈夫ですか。元気になってください。笑顔になってください。」
とても嬉しかったです。私は元気になりたいと思いました。
暗い毎日が、明るい毎日に変わりました。

それから、私は中学校へ入学しました。そして、日本語と出会いました。
いつも「これは日本語で何と言いますか。」と考えました。
すると、日本語で少し先生と話ができるようになりました。
そして、私は夢を持つことができました。それは、ガイドになることです。

ガイドは、言葉を使う仕事です。
言葉を使って人を笑顔にしなければなりません。
私は言葉が人を幸せにすることを知っています。人を傷つけることを知っています。
ですから、私は一生懸命日本語を勉強して、人を幸せにするガイドになりたいです。

言葉は力があります。日本語、タイ語、英語……。
幸せになるために言葉を勉強したら、人と人の心がつながり、みんなが幸せになると思います。
そして、そのことが、いじめや戦争がなくなることに役立つと私は信じたいです。

Songshit Seehamat